

ほけんだより



令和3年9月17日
広神東小学校 保健室

2学期がスタートして3週間が過ぎました。新型コロナウイルスの子どもたちの感染が心配される中ですが、当校の子どもたちは元気に登校しています。朝晩と日中の気温差がありますが、爽やかな気候の中で5、6年生は陸上記録会があり、今は全校児童が持久走記録会に向けて練習を行っています。

新潟県では16日をもって「特別警報」が解除され「警報」へと変わります。しかし、引き続き感染予防対策が求められる中、登校前の体温測定を含めた体調チェック、マスクの着用、手洗いなど、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

「健康カード」の確認について

お子さんの健康状態を確認いただくために、上記のカードを持ち帰ります。中を確認いただきましたら、保護者印欄（見た印欄）に押印またはサインをお願いいたします。

提出は21日（火）までをお願いいたします。



【広神東小学校 2学期 学年・男女別平均と4月からの増加量の平均】

	身長 (cm)				体重 (kg)			
	男子		女子		男子		女子	
	平均	増加	平均	増加	平均	増加	平均	増加
1	119.9	3.0	121.1	3.1	24.1	1.3	23.2	1.1
2	126.6	2.5	123.0	2.6	28.8	2.1	24.2	1.4
3	130.9	2.3	129.2	2.6	28.9	1.6	26.4	1.6
4	134.0	2.3	138.3	3.3	30.9	1.4	34.0	2.0
5	143.9	3.2	144.6	3.1	38.2	2.2	36.3	2.3
6	149.1	3.3	146.7	2.6	42.3	3.5	42.2	1.9

- あくまでも平均ですが、体重増加量が平均を大きく上回る場合は、肥満に傾きやすくなるため注意が必要です。1学期の肥満傾向児童の割合は9.9%で市平均（10.7%）を下回っていましたが、2学期は13.2%に増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や体を動かす機会が減少している影響もあるのではないかと推測されます。食事と運動のバランスをこの機会に見直してみてください。

【「発育測定結果のお知らせ」について】

学校保健安全法の改定で、児童生徒の発育を評価する上で成長曲線を作成し、積極的に活用することが重要であると示されました。その中で、9つの項目で発育状態をチェックし、その項目に該当するお子さんへはお知らせをしています。（肥満傾向以外の項目は2学期新たに該当したお子さんのみ）この項目全てが病気とつながるとは限らず、統計学的に見た異常の範囲も含まれています。お届けしたグラフを確認いただき、発育について気になる場合は、専門医にご相談いただいたり、生活習慣の改善に役立ててください。

新型コロナウイルス感染症の対応について

夏には 20 歳未満の感染者が増加し、県内でも保育施設等でクラスターが発生しています。

ワクチン接種をしている 6 年生もみられますが、5 年生以下の子どもたちは今のところワクチン接種はできません。

そのため、インフルエンザのように誰か 1 名でもウイルスを校内に持ち込むことで、感染が拡大してしまいます。



外からウイルスを持ち込まないようにすることが、学校における感染拡大を防ぐために極めて重要です。9月8日の魚沼市教育委員会からのメール配信をご確認いただいていると思いますが、再度下記の点について、ご理解、ご協力をお願いいたします。

1. お子さんに**発熱や倦怠感、喉の違和感、咳などの症状がみられる場合は**、登校を控え、速やかに医療機関を受診してください。
2. 上記のような症状が**同居のご家族にみられる場合**も、登校を控えてください。医療機関を受診した結果、学校保健安全法で定められた感染症以外の診断がついた場合は病気欠席、それ以外は出席停止扱いとなります。
3. 児童が学校で体調不良を訴えた場合は学校から連絡をします。速やかに迎えをお願いします。その後、医療機関への受診をお願いします。
4. 児童生徒の登校時に健康観察表を活用し、検温結果及び健康状態を把握するため、**毎朝の健康状態を必ず記入して登校する**ようにお願いします。お子さん任せにせず、保護者の方からの確認をお願いします。

文部科学省の統計によると、子どもの感染が増加しているとはいえ、小学生においては家庭内感染がほとんどを占めていることから、同居家族の皆さんの行動が大きく影響してきます。県の特別警報が解除になっても、引き続き感染予防行動をお願いいたします。

インフルエンザ予防接種について



先日、魚沼市健康増進課から「子どものインフルエンザ予防接種費用助成のお知らせ」が届き、配付しました。10月～3月31日までの期間に接種した場合、1回につき2000円が助成されます。

昨年度はコロナウイルス予防対策や、人の動きに制限があった影響もあり、ほとんど流行をすることはありませんでした。これから新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済活動が活発になると、人の動きも多くなってきます。昨年はほとんど見られなかったインフルエンザも今年は流行する可能性があります。コロナウイルスと、インフルエンザと同時に感染した例も報告されています。5年生以下の子どもたちはインフルエンザのワクチンしか接種できないため、重症化防止のためにはできる対策をとることが大切です。配付された用紙をご確認ください。